

こんにちは。Julianと申します。Thor Heyerdahl 高校の3年生です。今日は、和食と僕の人生というテーマで話したいと思います。僕が、毎日のように和食を作るようになってから3年が経ちました。僕の人生において和食は 欠かせないものであり、人生を大きく変えてくれたものでもあります。

まず、和食と洋食の違いについて説明します。2つの最も大きな違いは料理の目的、手順です。和食を作る上で重要となるのはいかに素材の味を活かすかということです。その反対に洋食では、多くの調味料を使いいかにそれぞれの食材の味を抑えることができるかが大切になってきます。そのため、完成したものから食材本来の味を楽しむことは難しくなります。

僕はこの2つの料理の方法と人生に共通するものがあるのではないかと考えています。

僕は以前から医者になることを志していました。数学、理科なども好きでしたが、今思えば社会的地位や安定した暮らしに憧れていたのかかもしれません。しかし、ずば抜けて医学に長けていなかった私は授業についていくために日々勉強に打ち込んでいました。得意とは言えない分野を専攻したが故に、新しい知識を身につけるために必死でした。この頃の僕はまさに、洋食タイプの人生を歩んでいました。多くの調味料、つまり新しいものを自分自身に加えることで本来の自分とはかけ離れた姿になろうとしていました。

ですが、ここで僕の人生のターニングポイントとなる、和食に出会い、人生観が変わりました。食材の持っている特徴を最大限に活かし、より引き立てることで最高の一品を作る。無理をして自分が持っていないものを追いかけるのではなく、それぞれの特性を引き立てる。それから僕は、自分自身と深く向き合い、大好きな日本と得意とするビジネスを最大限に活かして、自分にしかできないノルウェーと日本を繋ぐビジネスをするという夢を抱きました。

4ヶ月後、僕は大きな夢を持って、大好きな日本へ^{いじゅう}移住します。長い
準備期間^{じゅんぴきかん}を経てついに、僕の人生、夢が動き出します。
では、あなたは和食タイプ、洋食タイプどちらの人生を進みますか？
ご清聴^{せいちょう}ありがとうございました。